

令和6年10月31日

各部（局・室・課）長 様

財 務 部 長

## 令和7年度の予算編成方針について

令和7年度の予算編成は、次の方針によるので市長の命により通知する。

### 1 国等の情勢

政府の令和6年10月の月例経済報告によると、「景気は一部に足踏みが残るものの、緩やかに回復している」とされている。先行きについては「雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待される。」とする一方で、「欧米における高い金利水準の継続や中国における不動産市場の停滞の継続に伴う影響など、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっている。また、物価上昇、中東地域をめぐる情勢、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。」と指摘している。

総務省発出の「令和7年度の地方財政の課題」によると、社会保障関係費や人件費等の増加が見込まれている。地方団体が、DX・GXの推進、地方への人の流れの強化、こども・子育て支援や地域医療の確保などの重要課題に対応しつつ、行政サービスを安定的に提供できるよう、「新経済・財政再生計画」等を踏まえ、経済・物価動向等に配慮しながら、交付団体を始め地方の安定的な財政運営に必要となる一般財源の総額について、令和6年度地方財政計画の水準を下回らないよう実質的に同水準を確保することとされている。

### 2 高砂市の財政状況

令和5年度決算では、国の税収の上振れにより地方交付税が増収となったこと、市民病院の単年度資金不足を補てんするための一般会計繰出金が例年支出していた額より約2億円不用になった等の要因から実質収支が約10.1億円となった。また、財政調整基金残高は過去最高の残高となった。

市債残高は令和4年度に457億円と過去最高の残高となったが、令和5年度に第三

セクター等改革推進債を早期償還したこと、交付税措置のない起債の発行抑制を図ったことで、残高は大きく減少した。(注1)

これらにより、財政状況の健全性を示す指標である将来負担比率は51.6%となり、前年度に比べ9.4ポイント減少(改善)したものの、依然県内では最下位グループに位置している。(注2) 一方、有形固定資産減価償却率は、新庁舎建設事業、松村川排水機場建設事業など大型事業が完成したことにより、類似団体より低い水準となっている。(注3)

施設の老朽化対策等が一定程度進んでいるが、公債費が高い水準にあることを示しており、持続可能な財政運営について、引き続き予断を許さない状況となっている。

### 3 第5次高砂市総合計画の推進のために (注4)

総合計画に定める「高砂市の将来像:暮らしイキイキ 未来ワクワク 笑顔と思いやり育むまち 高砂」の実現に向け、事業を行う必要がある。事業実施に際しては、第5次総合計画のキーワードを「共に」としていることを十分に理解したうえで、他機関や企業、市民団体等との連携、他部署や複数の施策との連携、また、その連携の仕掛けを考慮すること。

令和5年に示された国立社会保障・人口問題研究所による将来人口推計において、本市は前回の結果からやや上方修正される見込みとなったものの、2050年の人口は2020年と比較し7割程度になると予測されている。このような状況のなか、「人口減少を緩やかにする」・「人口減少社会においても幸福に暮らせるまちづくりを進めていく」ことが重要である。

市民の幸福度の向上に繋がる「先輩世代・現役世代・未来世代 全ての皆様の笑顔あふれるまち たかきご」を意識したうえで予算要求を行うこと。

## 4 予算編成方針

### (1) 基本的な考え方

令和5年度から令和8年度を「戦略的強靱財政構築期間」と位置付けており、令和7年度はその3年目となる。令和7年度は公債費が横ばいであるが、令和9年度以降はさらに増加する。それまでに、行政の課題である「行政事務の効率化」を、DXを柱にこれまで以上に推進し、徹底したコストの削減と生産性の向上に努める。同時にGX等の脱炭素社会に向けた取組、カーボンニュートラル実現を見据えた新しい社会構造にも機動的に対応できる強靱な財政基盤を構築する期間とする。この期間に「市民の幸福度の向上」に繋がる事業を柔軟に展開しつつ、新たな行政需要や公債費の増加に対応するための財源を生み出していく。

#### ① 全般

令和7年度は、野球場改修工事事業、阿弥陀こども園建設事業、消防庁舎等改修事業などの令和6年度までに着手した事業が完成を迎えることとなり、今までの取り組みが成果をあげる年となる。

着手済みの事業において、多額の財源が必要となることから、新規事業を実施するには、財源の捻出が不可欠となってくる。

歳入については、金額の多寡にかかわらず、あらゆる歳入の可能性を検討し、確実に予算に計上すること。

#### ② 経常経費

経済が新たなステージに入りつつある中、物価高・人件費の増加に対応していくために、歳出削減を常に検討しながら取り組んでいく。「経常的な歳入で経常的な歳出を賄う」の基本的な考え方のもと、直近の決算状況などから不用額の発生した要因を分析し、その縮減に努めること。

#### ③ 事業経費

令和6年度までに着手済みの事業の実施を最優先事業とする。必要性、優先順位、費用対効果、現状及び中長期における財政負担を十分に検証したうえで要求すること。

「市民の幸福度の向上」の実現に向けた取組のなかで、『令和7年度に必要』な事業を選び予算要求を行うこと。

また、起債については元利償還金が普通交付税に算入される事業債を有効活用する

一方、事業費を十分精査し地方債残高の縮減及び将来の負担となる公債費を抑制するものとする。

臨時的経費については、必要性・緊急性・安全安心の面から必要であると認められる場合に限り、課題の整理が必要な事業に対して最小限の経費を計上すること。

## 5 重点的に検討する事業

第5次総合計画の基本目標の実現に向け、市民が幸福に過ごせる笑顔あふれるまちたかさを進めるにあたり、令和5年度に実施した市民満足度調査における重要度の高い政策に注目したい。政策重要度を整理すると、

- ①災害や犯罪から市民を守り、健康で元気に暮らせるまち
- ②買い物や移動など、快適で住みよい住環境があるまち
- ③教育環境が整い、安心して子育てができるまち

に対する政策について、市民は重要度が高いと感じている。

また、加えて、

④人と人との繋がりを深め、様々な場面での助け合い・支え合いを促進することは、市民が笑顔になるまちづくりに繋がるものであると考える。

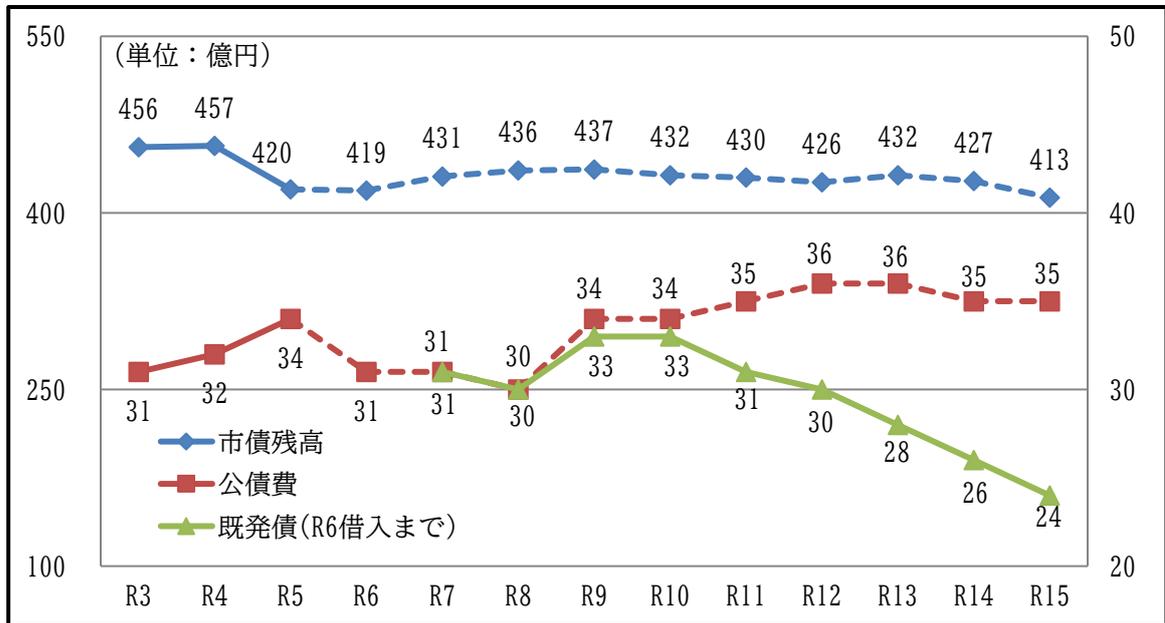
この4つの重点的な方向性<sup>(注5)</sup>を中心にしながら、予算計上を伴わない事業(ゼロ事業予算)も含めて事業を検討すること。

また、市民満足度調査結果から、重点的な施策であるものの、市民の認知が低い事業が多々あること、市の施策を知ることは、「総合的な満足度」や「愛着・ほこり」などのポジティブな感情に繋がる可能性があることから、事業の実施だけでなく、市民全体にPRするための「伝わる化」について検討すること。

なお、具体的な事項については、前述した予算編成方針に基づき別紙のとおり「予算編成要領」として別に定めている。それには一般事項から事業経費、枠配分、歳入、歳出に関する事項について細部にまで記述している。令和7年度予算編成を行うにあたり、この「予算編成方針」を十分理解し、具体的な事項については「予算編成要領」により予算の編成にあたられたい。

(注1)

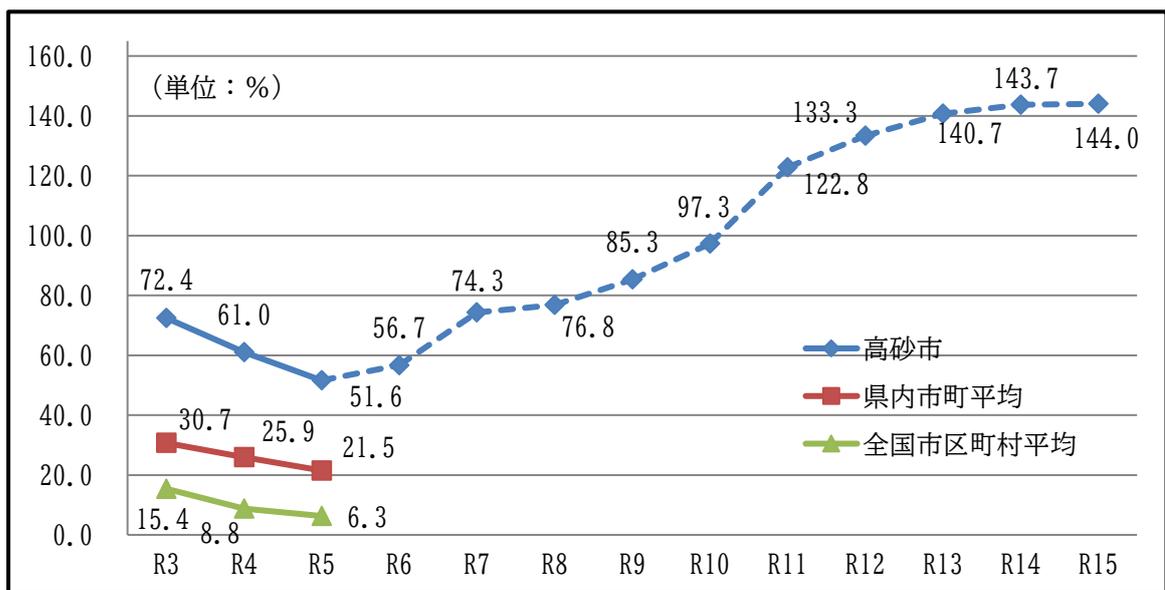
市債残高と公債費（一般会計）の推移（令和7年度以降は令和6年6月中期財政計画及び長期財政見通しに令和5年度決算を反映）



公債費は、既発債としてピーク時に33億円を超え、中期財政計画及び長期財政見通しを反映すると令和12年度には36億円程度となる。

(注2)

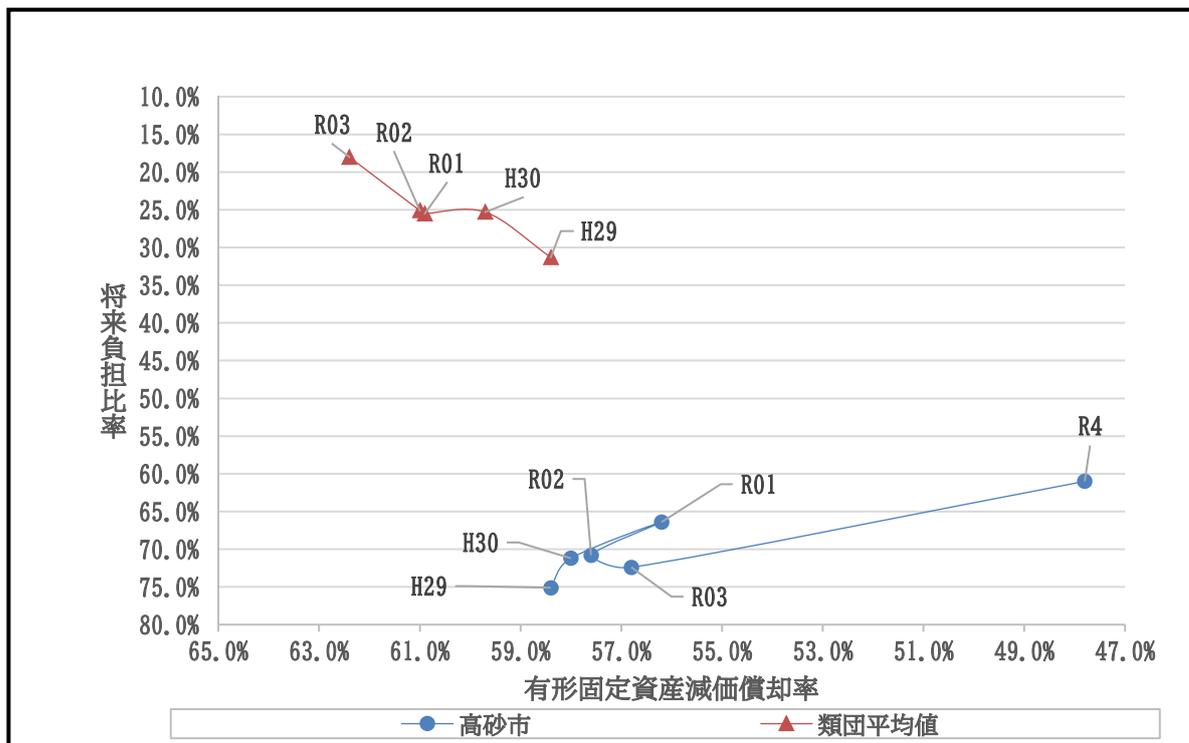
将来負担比率の推移（令和6年度以降は令和6年6月中期財政計画及び長期財政見通しより）



令和15年度の将来負担費率は、令和5年度決算ベースの県内他市町と比較すると最も高い比率となる。

(注3)

将来負担比率と有形固定資産減価償却率の推移



将来負担比率が類似団体を上回っている一方、有形固定資産減価償却率は類似団体よりも低い水準となっている。

これは必要な投資を行い、施設の老朽化対策を行っている結果といえる。

(注4)

第5次高砂市総合計画(抜粋)

2030年高砂市の将来像  
暮らしイキイキ 未来ワクワク  
笑顔と思いやり育むまち 高砂  
～SDGsで共に夢を描こう～

基本理念

誰一人取り残さない  
市民の命、財産を守る  
魅力的なまちをつくる  
持続可能なまちをつくる

基本目標

ひと



育み、認め合い、元気に生きるまち 【共生】

すべての人が希望を持ちながら笑顔で健やかに育ち、  
すべての人がそれぞれの個性を認め合い、思いやり、  
健康に元気に生きていく地域を共につくりましょう

まち



地域の魅力を共に創る、活力あるまち 【共創】

行ってみたいワクワクする魅力ある場所に行くことができ、

活力あるイキイキとした日常を安心して暮らせる、  
住みたいまちを共に考え、つくりましょう

くらし・しごと



楽しく、つながり合い、活躍するまち 【共感】

誰かを思いやり、つながりを大切に、  
誰もが楽しく笑顔でイキイキと活躍し、

未来にワクワク、夢を感じるまちを共につくりましょう

行政



もっと行政が寄り添うまち 【共治 共有】

市民の共有する財産でもある市役所職員や施設が、  
高砂市の将来像の実現に向けて、

もっと効果的に機能するよう、共に取り組みましょう

(注5)

重点的に検討する事業

○ 災害や犯罪から市民を守り、健康で元気に暮らせるまち

基本目標1 ひと／育み、認め合い、元気に生きるまち 【共生】

基本目標2 まち／地域の魅力を共に創る、活力あるまち 【共創】

- ・安心した医療サービスなど健康に過ごせるまちづくり
- ・犯罪、事故、災害から市民を守るまちづくり
- ・高齢、障がいであっても安心して生活できるまちづくり

○ 買い物や移動など、快適で住みよい住環境があるまち

基本目標2 まち／地域の魅力を共に創る、活力あるまち 【共創】

- ・駅を中心とした公共交通が暮らしの利便性を向上させるまちづくり
- ・暮らしに良好な住環境があるまちづくり
- ・行きたい場所へ移動できる道路等の社会インフラが整備されたまちづくり

○ 教育環境が整い、安心して子育てができるまち

基本目標1 ひと／育み、認め合い、元気に生きるまち 【共生】

- ・安心して子どもを産み育てることができるまちづくり
- ・子どもが学ぶ力を育むまちづくり

○ 助け合い・支え合う、地域でのつながりがあるまち

基本目標3 暮らし・しごと／楽しく、つながり合い、活躍するまち 【共感】

- ・地域でつながり、支え合うまちづくり

○ その他継続事業